



	一人暮らし	夫婦二人暮らし	家族など同居※	その他
元気高齢者	23.9%	<b>34.3%</b>	36.1%	0.5%
要支援	<b>40.8%</b>	19.5%	32.9%	1.8%
要介護1	28.8%	23.0%	37.1%	9.5%
要介護2	24.5%	23.7%	39.3%	10.2%
要介護3～5	13.9%	23.2%	<b>43.8%</b>	17.7%

※家族など同居：夫婦二人暮らしを除く方

## (2) 予防必要者等の状況 (元気高齢者) (P6)

何らかの予防を必要とする割合は、元気高齢者の3人に1人となっている。項目別では、「運動器」が17.0%、「口腔」が22.1%となっている。

## (3) 認知機能障がいの分布 (P6, P7)

元気高齢者で認知機能障がいの可能性のある割合は、6人に1人となっている。「2レベル(軽度の障がい)」～「6レベル(最重度の障がい)」までを合わせた「認知機能障がい」の割合は、要介護1で51.6%、要介護2で59.2%であった。「5レベル=重度の障がい」は要介護1で3.7%、要介護2で8.2%となり、要介護2は要介護1の2倍を超えている。

## (4) 外出について (P7, P8)

介護度が上がるにつれ、「外出を負担に感じない」割合は減少し、反対に、「家で過ごす方が好き」という理由や、「身体面、健康面の不安」という理由などにより外出を控える傾向にある。

## (5) 在宅サービス利用状況 (P14, P15)

要支援から要介護2までは、「通所介護(デイサービス)」、「訪問介護(ホームヘルプサービス)」、「通所リハビリテーション(デイケア)」の利用割合が高く、要支援2が要支援1を上回っている。

要介護3～要介護5では、「福祉用具貸与」の利用割合が高く、順に67.8%、76.9%、79.4%である。

また、要介護5は、「通所介護(デイサービス)」(52.9%)、「訪問介護(ホームヘルプサービス)」(54.4%)、「訪問看護」(50.0%)が5割、「訪問入浴介護」(41.2%)及び「居宅栄養管理指導」(38.2%)が4割前後となっている。

## (6) 軽度者のサービス利用 (P16, P17)

訪問介護の種類別利用状況については、「家事援助のみ」の利用割合は要介護(支援)度が上がるにつれて減少傾向にあり、要支援1が73.6%、要介護2は36.8%であった。

通所介護の利用については、要介護度が上がるにつれて、利用回数及び利用時間が増える傾向にあり、週1回程度の利用割合は、要支援1で57.4%、要介護2で16.7%であったのに対し、週2回程度の利用割合は、要支援1で9.0%、要介護2で36.2%であった。週3回以上の利用割合も要支援1で2.0%、要介護2で34.1%である。

## (7) 元気高齢者の生活支援ニーズ (P18)

元気高齢者における介護予防・生活支援サービスに対する利用意向は約1割(11.8%)である。前期高齢者に比べ、後期高齢者の利用意向割合が高い傾向にある。

割合が高かったのは、「一回60分以内の家事援助を行ってもらおう訪問型のサービス」及び「機能訓練やレクリエーションを行う通所型のサービス」である。

「3～6か月の短期通所サービス：運動機能向上・栄養改善・口腔機能訓練等」については、5%ほどの利用意向がある。「地域のボランティア団体等により提供される通所型サービス」の利用意向は約2%であった。

## (8) 住まい・住まい方

### ● 介護と住まい 今後受けたい介護(元気高齢者～要介護2) (P22)

元気高齢者から要介護2の全ての区分において、「介護保険の在宅サービスを利用しながら、自宅で生活したい」割合が3割を超えており、要支援では37.2%となっている。

「家族の介護を受けながら、自宅で生活したい」割合は、介護度が上げるにつれ高くなっており、元気高齢者では18.0%であるが、要介護2では30.9%となっている。

	家族の介護を受けながら、自宅で生活したい	介護保険の在宅サービスを利用しながら、自宅で生活したい	高齢者向け施設に住み替えて、介護サービスを利用したい	介護保険で利用できる施設等に入所・入居して24時間のサービスを受けたい
元気高齢者	18.0%	32.2%	8.9%	11.2%
要支援	18.7%	37.2%	9.8%	11.5%
要介護1	30.4%	35.6%	5.2%	11.3%
要介護2	30.9%	34.8%	6.5%	11.7%

※主要意見を表記

● **要介護3～5の主介護者自身が介護を受ける場合のニーズ (P24)**

「自宅で介護保険等の公的サービスを利用しながら暮らしたい」割合は、4割前後であり、80歳以上の主介護者では43.6%となっている。

「特別養護老人ホーム等の施設に入所したい」割合は、1割～2割であった。

「自宅で家族介護のみで暮らしたい」割合は、70歳代までは主介護者の年齢が上がるにつれ増加する傾向にあり、50歳代は5.1%、70歳代は14.5%であった。一方、80歳以上は9.6%であった。

	自宅で家族介護のみで暮らしたい	自宅で介護保険等の公的サービスを利用しながら暮らしたい	特別養護老人ホーム等の施設に入所したい	有料老人ホームに入居したい
	要介護3～5	要介護3～5	要介護3～5	要介護3～5
50歳代	5.1%	37.3%	21.2%	9.3%
60歳代	8.1%	39.0%	20.0%	10.5%
70歳代	14.5%	38.2%	21.2%	4.2%
80歳以上	9.6%	43.6%	14.9%	3.2%

※主要意見を表記

(9) **充実を求める高齢者施策 (P24～P27)**

「家族等の介護者に対する支援」が全ての区分において2割から4割あり、介護度が上がるにつれて高くなっている。

「見守り等、ひとり暮らし高齢者等への支援」が2割前後となっている。

「認知症対策」については、元気高齢者、要支援では低く、要介護1から要介護5では2割を超えている。

「介護保険の施設・入居系サービス」については、概ね要介護（支援）度が高くなるほど割合が増える傾向にある。